

山陽小野田市食育推進会議議事録

会議の種類	令和元年度第1回山陽小野田市食育推進会議		
日時	令和元年7月11日(木) 15:00~17:00		
場所	市役所3階 大会議室		
出席者	市 民 代 表	井 本 和 幸 (委 員)	
	山口県販売協力店連携協議会	大 谷 浩 彦 (委 員)	
	山陽小野田市教育研究会	佐々木 俊 子 (委 員)	
	宇部フロンティア大学短期大学部	末 吉 奈保美 (会 長)	
	山陽小野田市立山口東京理科大学	立 花 研 (委 員)	
	山陽小野田市地球温暖化対策地域協議会	内 藤 美恵子 (委 員)	
	山陽小野田市食生活改善推進協議会	半 矢 幸 子 (副 会 長)	
	山口県漁業協同組合	久 中 幸 子 (委 員)	
	小野田南高泊干拓農業協同組合	松 村 孝 子 (委 員)	
	山口県私立幼稚園連盟	棟 久 光 江 (委 員)	
	小野田料飲店組合	村 岡 京 子 (委 員)	
	山口県立厚狭高等学校	森 祐 子 (委 員)	
	山陽小野田市母子保健推進協議会	吉 田 由美子 (委 員)	
	市 民 代 表	吉 本 早 苗 (委 員)	
	(出席者数 14人)		
欠席者	山陽小野田市保育協会	三 井 洋 子 (委 員)	
	(欠席者数 1人)		
オブザーバー	山口県宇部健康福祉センター	岡村恵美子	
事務局	市 長 藤田剛二	福 祉 部 長 兼	本 裕 子
	福 祉 部 次 長 川崎浩美	福 祉 部 次 長	岩 佐 清 彦
	健 康 増 進 課 長 尾山貴子	補 佐 兼 健 康 管 理 係 長	銭 谷 憲 典
	主 査 兼 健 康 増 進 係 長 大海弘美	健 康 増 進 係 長 (食 育)	加 藤 諭 香 江
	健 康 増 進 課 技 師 白井誓栄		
食育推進庁内 連絡会委員	経 済 部 次 長 深井篤	高 齢 福 祉 課 長	麻 野 秀 明
	学 校 教 育 課 長 代理 稲田貴子		

	<p>1 辞令交付</p> <p>2 山陽小野田市長あいさつ</p> <p>3 委員、職員紹介</p> <p>4 会長、副会長の選出</p> <p>5 議事</p> <p>(1) スマイルエイジング及び第2次山陽小野田市食育推進計画について (事務局から説明)</p>
会 長	<p>議事1のスマイルエイジング及び第2次食育推進計画については、決定し、実施しており現状の報告である。そのため、質疑応答の時間は設けないこととする。</p>
会 長	<p>(2) 令和元年度食育推進事業概要について (事務局からの説明)</p> <p>まず、資料2について、掲載されていないが、食育推進に向けた取組として、各団体や関係機関がすでに実施している事業、または、今後実施予定の事業があればご紹介いただきたい。</p>
会 長	<p>本日、欠席委員より事前に意見をいただいているようなので、事務局から紹介をお願いしたい。</p>
事 務 局	<p>資料2の「2 学校、保育園等における食育の推進」の中で、保育園と書かれている事業については、実施している。その他、送迎時の際、直接保護者と話ができる場面を活用して、個別指導や情報提供を実施している。とのご意見をいただいている。</p>
委 員	<p>“初心者料理教室”について、“男性料理教室”を何十年も実施しており、初心者も巻き込んで教室をしているという現状。そのため、あえて初心者コースとしては設けていない。</p> <p>また、弁当づくり教室と郷土料理教室が実施できていないとあるが、山口県には郷土料理がたくさんあるので、郷土料理を活用したり、お弁当のおかずとしても活用できる料理教室を展開していきたい。</p>
委 員	<p>小学校、児童館に年3回程度、食育出前授業を実施している。さらに、給食時間にミニ食育として学んだ事の定着を兼ねて訪問している。6月の環境月間・食育月間に合わせて、梅シロップを作って梅ジュースにしたり、スマイルキッズキッズファームのように、児童館では野菜を栽培し、調理して食べるということをしている。昨年、小学校では秋じゃがを植え、お焼などにした。地域で健康を考える会で、いきいき元氣会を行っている。</p>
委 員	<p>資料2の「4 食育推進運動の展開」の中で、食育ツールの作成とある。先程、事務局から食育ランチョンマットが配布されたが、食育をするにあたって、食器の位置などマナーなどについても学べるため、小学校へ配布している。委員の方も、この食育ランチョンマットを活用しながら、食育を推進していただきたい。</p>
委 員	<p>環境保護についても問題になっているが、食品ロスだけでなく、ご</p>

委	員	<p>みの分別も非常に重要。地球温暖化対策地域協議会では、子ども向けのごみの分別に関する紙芝居を作成してはどうかという話も出ている。小さい時からのごみの分別の習慣づけが大切であるため、園や学校でも食べ残した後、どのように片づけるか等、指導をしてほしい。食事を大事にする等、食品ロスを少なくしようということが前提にあるが、環境問題にも通じるため、食の後片付けも指導も大切。</p>
委	員	<p>大学の取組ということで、計画段階だが、減塩に関する出前講義を考えている。できれば、小中学校の段階で意識をしてもらいたいのので小中学校での実施を計画している。知識を持ってもらうことと、身近な食品の塩分測定を予定しているが、家庭に持ち帰り、それをきっかけとして広がればと考えている。</p>
委	員	<p>食育のインストラクターや栄養士を講師に仰ぎ、小学生と園児向けの食育体験ツアーを行っている。1時間程度で、野菜や果物の摂取についての話と、その後に、弊社で買い物をして、野菜や果物に触れてもらっている。</p> <p>また、花の海に出向いて収穫体験の活動を行っている。まだ、市の学校とは連携をとってはいないが、要望があれば、計画をしたい。</p>
委	員	<p>また、フードバンクやまぐちを通して、貧困家庭に食材を提供するという活動を行っている。地域のボランティア活動で子ども食堂を行っているところに、野菜を提供している。このような活動を通して、地域に貢献していければと考えている。</p>
委	員	<p>山口の調理師専門学校では、家族で食を考えるということで、夏休みを活用して食育を実施している。個人としてだが、高千帆中学校1年生の家庭科で、ボランティアとして調理の基本的なことを授業を通して教えている。</p>
委	員	<p>園でも畑を持っており、野菜を育て、その野菜を園児ができる範囲で、調理して食すということをしている。身近な野菜を育てることで、子ども達は関心を持つことができる。幼児期は味覚が形成される時期であるため、給食でも塩分を計測して、気を付けるよう取り組んでいる。また、園では、今日の給食のメニューの横に、どんな野菜が入っているか、実物の野菜を紹介しながら、食に関心を持つよう取り組んでいる。</p>
オブザーバー		<p>資料2の「3 地域における食育の推進」の中の“飲食店ヘルシーメニュー・減塩メニューの提供”について、県での取り組みとして、やまぐち健康応援団がある。市内でも食に関して登録しているところがある。そういったところを増やすことも大切。</p>
会	長	<p>次に、数値目標を達成するために今後さらに強化すべきと思われる事業、また、取組が十分でないと思われる事業、その他ご意見があればいただきたい。欠席委員から意見があれば事務局から紹介をお願いしたい。</p>
事	務	<p>事務局</p> <p>生活習慣病などの病気にならないように、小さいうちから薄味に慣れる、塩分を摂りすぎるとどうなるかを子ども達や保護者に伝えてい</p>

<p>委員</p>	<p>かなければならないという意見をいただいている。</p> <p>数値目標について、何%上げるなど目標値があるといいと感じた。また、子ども達に食育をする中で、なかなか配膳の位置が定着しない。繰り返し指導していく必要があると感じた。</p> <p>減塩の話も出たが、味覚について今後取り組みたいと考えている。和食として大事な旨味・出汁を子ども達にも味わってほしい。それが、減塩に繋がると思っている。</p> <p>今年の6月、2年生に歯の仕組みと野菜をしっかり食べようについて授業を実施した。委員の中にはいないが、歯科医も食育に必要ではないか。</p> <p>市販の食育かるたを子どもとすることがあるが、市にも食育かるたがある。しかし、一般への貸し出しが難しいと聞いている。子ども達が使えるようになると、身近に食を考えることができるようになると思う。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>市の食育かるたというのは、食生活改善推進協議会が作成したものである。これについて、事務局から説明をお願いしたい。</p> <p>もともとは、食生活改善推進協議会の皆さんが食育活動をする際に使用するために作成したものである。食生活改善推進協議会と一緒にどんどん活用してもらいたい。</p>
<p>委員</p>	<p>埴生漁港で7月に親子で参加する漁の体験を予定しており、多くの参加希望者があった。自分たちで獲って、湯がいて、食べる教室である。このような体験も必要と考え、来年度も実施する予定。</p>
<p>委員</p>	<p>厚狭地区複合施設で9月6日に昭和病院の末次先生に生活習慣病予防についての講演会を予定している。一般公開する予定だが、このような機会も大切。</p>
<p>委員</p>	<p>ホテルや飲食店の立場から、宴会などで食事を食べ残すということがある。ある市ではホテルや飲食店で中締めをする際、一度席についてもらい、食事時間を設けていると聞いた。食事時間の習慣が定着すると、食の廃棄が減るのではないか。</p>
<p>委員</p>	<p>すでに3010運動を展開している。宴会が始まって30分は食べよう、宴会が終わる10分前は席に戻り食事を食べようという運動。ぜひ普及していただきたい。</p>
<p>会長</p>	<p>せっかく集まっていたいただいたので、全ての委員に一言ずつご意見をいただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>食育の基本は家庭である。家庭で食べるということを考える習慣を身に付けさせることが大切。</p>
<p>委員</p>	<p>当社は食育体験ツアーを通して学ぶことも必要と考えている。今後も活動を進めていきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>学校では、1月26日～1週間、給食週間としており、給食ができる過程のビデオや調理員へのインタビュー実施、お礼の手紙作成などを行っている。また、給食時間にクイズを実施して関心を高める取り組みをしている。歯科に関しては、噛むことによってご飯が消化しやすい</p>

委員	<p>ものになるという授業を行ったら、子ども達から嘔むことは大切という声も聞いた。様々な取り組みなどを聞くことができたので、学校でも活用していきたい。</p> <p>授業を行った際、食に関心のない人が多い問題があると耳にした。その人達にいかに関心を持ってもらうかがポイントとなる。子ども向けに話をすると、自分のことでは響かないことも子どものことになると保護者に少し響くと考える。そこを活用すると関心を持つ人が増えるのではないかな。</p>
委員	<p>小学生低学年の時期は大切。マナーなども、子どもを通じて保護者にも伝えられるようになるとうい。</p>
委員	<p>魚に触れる機会が少ないと感じる。そのような機会を増やし、魚も摂れたバランスの良い食事を伝えていくことも必要ではないかな。</p>
委員	<p>南高泊でネギ三昧を生産している。市内の小学3年生が社会見学を長年しており、名産品にも登録し、浸透している。大人の社会見学の受け入れもしている。収穫体験をすると食べることができなかった子が食べられるようになったという手紙をいただくことがある。体験があると食に関して興味がわいてくると思うので、もっと体験ができる場所を提供してもらおうとういのではないかな。</p>
委員	<p>先程から、幼児期の食の大切さが取り上げられているが、現場の立場からすると、園での食事は3食のうちの1食であるので、保護者への啓発の難しさを痛感している。給食参観してもらおうと“園では座って食べているんだ”という声も聞く。完全給食であることに頼る保護者の姿がある。いつもこちらから一方的に言うのではなく、保護者向けの講演会などの機会があるとよい。</p>
委員	<p>飲食店のヘルシーメニューについて、毎月1回料飲店組合で会議を開いているので、そこで組合員に呼びかけることはできる。</p>
委員	<p>土曜日が休みになったことによって家庭科の時間が削減されている状況であり、その中で子ども達の調理技術が上がることは難しい。教育指導要領が変わった平成6年以降に育った子ども達が、現在子育て世代になっており、その子どもの食事が十分できているのか不安である。朝食摂取に関しても、本人の意識が変わらない限り難しいと感じる。また、高校生を見ていると食事に関心のある子とない子の二極化がある。毎年、きらら交流館で、生徒が考えた献立をコラボ弁当という形で出している。毎年好評であり、様々な年代に合わせた献立を考える良い機会になっている。</p>
委員	<p>活動の中で離乳食に関しては、赤ちゃん訪問や育児サークルの時にアドバイスしている。もぐもぐはかせ教室など食に関する事業の対象者に声掛けはできている。</p> <p>個人の意見として、資料2について、地域や学校など計画の推進事業ごとにまとめてあるが、分かりづらいつ感じた。例えば、減塩に関することやイベントに関すること食育ツールに関することなど、見てわかる一覧表があるとよい。大学生など若い世代を対象に、簡単な自</p>

委員	<p>炊や弁当講座をするとよいのではないか。</p> <p>子どもに教育する際、5つの約束を決めている。「朝食を食べる」「30回噛む」「“まごはやさしい”を毎日食べる」「水やお茶を飲む」「うんちを見る」これを繰り返すことが大切だと思う。</p> <p>また、情報提供だが、山口県食育協会では、フォーラムを実施する。</p>
委員	<p>(3) その他</p> <p>7月16日(火)山口東京理科大学薬学部で食育講座を実施する。減塩をテーマに、だしをとったみそ汁を試飲してもらい、塩分測定器を活用して講座をする。</p>
オブザーバー	<p>6 その他</p> <p>山陽小野田市内の様々な場所で取り組みをされていると聞き、今後、ますます食育に関しては素晴らしい結果が出てくるのではないかと感じた。県も、様々なツールを作成し、情報提供をしていくので活用しながら食育を推進してもらえればと思う。</p> <p>給食施設に巡回をしており、助言や指導等をしている。一緒に食育を推進していきたいと思うので今後ご協力をお願いしたい。本日は減塩に関するリーフレットとがん検診に関するチラシを配布している。また、健康づくりという点で、健幸アプリの活用をお願いしたい。</p> <p>福祉部長あいさつの後、閉会した。</p>